

Hyper Ing 2013

”Hyper Ing”は上高生を応援する先輩メッセージです。 上野高校 HP→進路指導室→進路通信 でバックナンバーが閲覧できます。

上野高等学校進路指導部 vol.22 2013/12/14

上高の「花道の先輩」ドキュメント その13

上野高校を巣立った先輩たちがどのように学生生活を送っているのか、第13回は2013年9月24日、先輩の帰省中を利用して進路主任の冨澤がお話を伺いました。

第13回：真理を求めて前に進む

金沢大学 人間社会学域 人文学類 歴史文化学コース 考古学専攻 3年 水谷 侃司さん



ヨルダン ペトラ遺跡で

◇気温42度、砂漠の中で学術調査

——いつも自腹で大学を訪問していますが、金沢はちょっと遠いので、今日は帰省中のところ、上野高校まで来ていただきました。昨日までヨルダンに行かれていたそうですが(地図)、何を調査しているのですか？

水谷 「ワディアブトレハ」というダムの遺跡を現地調査しました。これは新石器時代に雨が降らないところにダムを建設して、農耕をしていた遺跡ではないかと考えられています。先生の研究のお供です(次頁写真上)。

——農耕発祥の地、「肥沃な三日月地帯」ですね。

水谷 ショーバックという標高の高い所に滞在して、現地まではピックアップトラックで行きます。測量をしたり、人夫を雇って遺跡を掘ったりしました。

——日本の発掘現場は麦わら帽のベテラン女性が丁寧に遺物を取り出すイメージです(笑)。写真を見せてもらうとツルハシでがんがん掘っていますが、こんなに乱暴で大丈夫ですか(笑)？



水谷 遺物が出てくる所は丁寧にやりますが、ここはダムなので流れてきたものしか出てこないで、ガツガツいきます。近くからは住居の遺構も発見されています。穴が掘ってあって、その周りが石積みされています(次頁写真中)。家自体はたぶんテントで、定期的に移動していたと考えています。一面砂漠ですが、雨期になれば水がたまります。

——これが正真正銘「新石器時代の灌漑設備」だとすると大発見ですね？

水谷 これが新石器時代の最古のダムかについては、学会では否定的な意見の方が多数です。先生だけが主張している感じです(笑)。遺構から炭化物が出ているので、それをカーボン14(炭素測定法)で測定して年代は出せるのですが、ダムだけに漂流物の可能性もあるので、ダム成立時の炭化物とは言い切れません。

——住居跡から石器や土器を見つけて、その形状から編年を導けば住居跡の成立時期もある程度特定できるのでは？

水谷 住居跡とダムの成立年代が違う可能性もあります。ダムが新石器時代にできたとは言い切れないのが現状です。

——ここで調査したものはこの後どうするのですか？

水谷 現地を実測して図面に書いたものを持ち帰って、トレースして製本し、ひとつの報告書にまとめます。

——他にはどのような調査をしましたか？

水谷 砂漠の奥で住居跡の調査をしました。これはかなり厳しかったです。砂漠にテントを張って寝泊まりしました。最高気



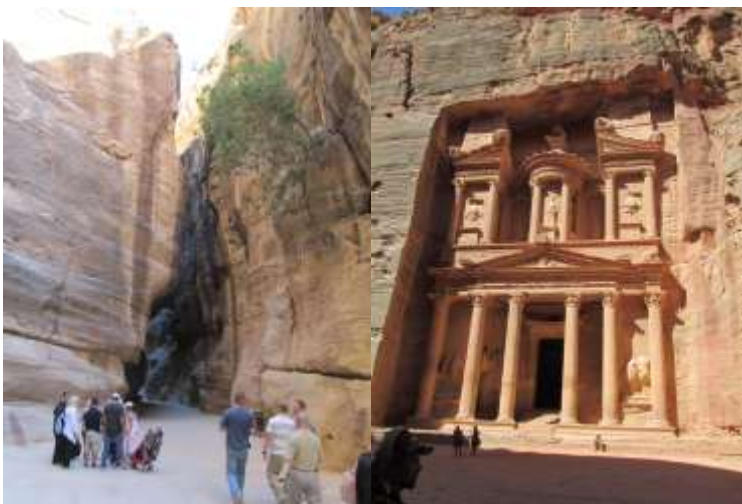
温は42度で日差しが強すぎです。明け方とは20度以上の気温差があります。准教授がテントで寝ているので、私は外で寝袋に入って寝ました(笑)。星がきれいでした。食事は普段はカップ麺ですが、時々「ハタブ」という遊牧民のバーベキューをしました。

——まあ学部生はテントで寝られないですね(笑)。他にはどこへ行きましたか？

水谷 ペトラ遺跡に行きました(写真下)。ヨルダンの観光資源はここだけです。『インディージョーンズ』のロケ地として有名です。「シーク」という細長い岩の隙間や、レリーフがあります。ギリシア・ローマ、ナバテア、ビザンツなど様々な時代の遺跡があります。死海も行きましたがあいにくカメラを忘れて(笑)。死海にはアメリカの調査隊が来ていました。欧米では「聖書考古学」といって、聖書に書かれていることが事実かどうか確かめる研究が盛んです。

——19世紀の中東研究(アッシリア学)は聖書の記述を補完するために始まりました。大英博物館にアッシリアの展示物がたくさんあります。

水谷 でもたいていは聖書の記述と違っているのでショックを受けているみたいです(笑)。聖書にある「ロトの洞窟」と思われた場所も、聖書の時代だけでなく、前期青銅器時代からイスラム時代まで様々な時代の遺物が出土しています。



◇文献とフィールドワーク中心の学問

——研究室への配属はどのようにして決まりますか？

水谷 配属は2年生からです。1年生の後期に希望を取ります。定員をオーバーした所は1年生の成績順で決まります(GPA。各講義の成績を平均化する。先輩ドキュメント6 京都大学編を参照)。1年生は共通教育と外国語が中心です。ここでつまずくと希望する研究室に行けなくなるので、1年生の勉強は大切です。

——考古学は競争が激しい…ということはないですね。たぶん(笑)。どこが人気ですか？文学部は女子が多いので、昔は文学や語学が人気でしたが。

水谷 考古学の第一希望は私一人でした(笑)。心理学や社会学が人気です。かっこいいイメージがあるようで。女子は8割ぐらいで、各専攻にまんべんなく分散しています。

——国立大学の文学部もやはり実学志向ですね。考古学は実学からはかなり遠そうです(笑)。

水谷 人気ないですね。でも今年は考古学に4名も希望しています。一番人気がないのは東洋史ですね(笑) 私の学年は結局8人になりました。僕以外は他の専攻希望から回ってきた人ばかりで、若干辛いです(笑)。その人の多くは「フィールド文化学」という、人類学、考古学、文化遺産、仏教美術など、テーマを絞らない研究室から回ってきています。ヨルダンの調査を

している先生もその研究室所属です。

——最近は学問横断的かつ実社会で役立つような名前の学科や専攻が増えています。生徒の興味を惹くためでしょうか。一方、先生は確立された学問を掘り下げて教えたいたはずで。学問の府である国立大学でさえ経営と研究のディレンマに立たされている訳ですね。研究室ではどのような勉強をしているのですか？



水谷 2年生は考古学史や先生の研究の講義、実習は土器の実測(写真)や屋外で測量の練習をします。他の研究室に比べれば外へ出ることが多いですが、金沢大学の考古学は日本に現場を持っていないので、実習も大学の中で等高線を計ったりしています。私は石川県の学会で学術調査に参加させてもらっています(写真)。能登には後期古墳がありますし、縄文の遺跡も発見されています。ただ予算があまりないのであまり大規模な発掘はできません。

——日本海側は古代から大陸との関わりが深い地域です。3年生になると研究テーマを決めるのですか？

水谷 私は信楽焼について調べています。今は文献を調べたり、窯跡を訪れたりしています。現地調査をすると整備されていなくて、土器の破片が散乱していたり、採掘で破壊されたりしています。信楽焼は13世紀ぐらいから始まり、常滑焼の影響を受けていると言われています。

——土器の成分なども調べるのですか。遠心分離器とか？

水谷 機械はありますが3年生はまだそこまでいきません。機械ものこぎりの刃で土器を薄く削って顕微鏡に乗せるといった原始的なものです(笑)。石川は九谷焼で有名ですし、前任の教授が焼き物の研究をしていたので資料は揃っています。将来的には信楽焼と伊賀焼の関係について調べたいと思っています。伊賀焼きは起源が不明で窯も見つかっていません。当面は信楽



焼の編年から新しいことが言えればと考えています。

——考古学の面白さってどの辺でしょうか？

水谷 「新しいことがわかる」ということだと思いますが、考古学はすぐに結果が出ません。「その研究って意味あるの」と言われることもあります。今はすぐ意味をなさなくても将来の大きな発見につながればよいと思います。

——個人の研究は大きな体系のほんの一部にすぎません。また考古学は科学性が求められるので、「〇〇が出土した」ということは言えても、出てきたものからその時代の様子を想像したら科学じゃなくなってしまうのが残念なところですよ。

水谷 自分の中ではイメージはありますが「それはお前の想像だろう」ということで、論文には書けません(笑)

◇ディレンマの中で限りを尽くす

——水谷さんが金沢大学を志望したのは考古学研究室があるからですか？ 考古学ができる大学は限られます。

水谷 元々歴史が好きで、将来に役立つように、本を読むより体を使う系がいいかなど。考古学は文献も読むしフィールドワークもあるのでやりがいがあります。ただ考古学の研究室がある大学は少ないですし、研究内容も調べておいた方がいいです。金沢大学にいる先生は中国、北方ユーラシア、西アジア、マヤと全員海外の研究をしています。考古学の研究室があるのは東大、筑波、國學院、明治、早稲田など関東に集中しています。文化財は関西の方が多いいのですが。

——『ふしぎ発見』が好きなお人にはいいですね(笑)。金沢大学のいい所はどこですか？

水谷 同じことを研究室の先輩の頼みで朝日新聞に話したのですが(“YouTube”で「金沢大学」「水谷」と入力すると動画がヒットします)、結構難しいですね(笑)。キャンパスが町中から山の上に移って、冬の雪はすごいです。だから「自然豊か」ですね(笑)。生徒は落ち着いています。今住んでいる下宿は大学から3キロのところ、4万5000円と低価格だし、星陵大学や

金沢工大がある辺は学生街で食事も安く済ませられます。

——水谷さんは硬式野球部に所属していて勉強時間が限られていたと思いますが、どのように勉強しましたか？

水谷 進研ゼミをしていて、英数国を中心に勉強していました。英単語や古典の文法など、まずは基礎を固めて応用問題をしていました。世界史と生物は資料集を見ていました。絵や図を見た方が頭に入りやすいので、教科書よりは先生の話と資料集で勉強していました。あと世界史はマニアックなことを考えていました（笑）

——私が高校生の時はソ連がアフガニスタンに侵攻した時期で、どうやったらソ連をやっつけられるか毎日考えていましたね（笑）。歴史叙述は「解釈」ですから、多少偏っていても自分なりの方向性で歴史を読み解いていくと頭に入ります。後で振り返ると恥ずかしいですが、それで、成績は上がりましたか？

水谷 いやそれが、下がることはないですが、勉強している割には成績が上がらませんでした。

——誰でもそういう時期を経験します。どうやって乗り越えましたか？

水谷 やり続けるしかないと思いました。野球部のライバルがすごく勉強しているので負けられないと思いました。私の学年の野球部はそうやって刺激合って、国公立大学にたくさん合格しました。

——名古屋大学を第一志望にしている、センター試験は700点ぐらい。合格ラインには足りません。

水谷 それでも今までの最高点でした。出願するのは金沢と思ってはいましたが、金沢第一志望だとこんな点は取れなかったです。最初から目標を低く設定してしまうとそれ以上伸びなくなります。おかげで余裕を持って出願できました。

——あまりに高すぎる目標を設定すると破綻しますが、「ちょっと高い目標と次の目標」という「身の丈にあった目標設定」をすると妥協したい気持ちに負けないで学習できます。二次試験の勉強はどのようにしましたか？

水谷 金沢大学の過去問は夏休みに一度やって、「これは難しい」と思い、11月ぐらいから再度取り組みました。センター試験後は大学の過去問のうち金沢大学に傾向や難易度が類似する広島大学や岡山大学の問題をやりました。本番の入試で、たまたまやったことのある古文が出てラッキーでした。

——「過去問を早めにすると自信をなくす」といって、センター試験後に過去問を何十年分もやる生徒がいますが、水谷さんのように、まず研究し、大学が要求しているレベルを実感して、自分で似た問題を探して演習することが合格への最短距離です。現役の時にそれを褒めようかと思ったのですが、油断するからやめました（笑）。

水谷 調子に乗ってしまうタイプなので（笑）。出願したら倍率が1.7倍だったので「いける」とも思っていました。

——最近では隣県の受験生が国公立大学現役合格にこだわるあまり、昨年高倍率だった大学や科目負担が大きい大学を敬遠し、少しでも入りやすい大学を探して志望を変えるため、中部の国公立大学では倍率の乱高下が続いています。志望校に愛着を持って受験に臨んで欲しいものです。さて水谷さんは将来についてはどのように考えていますか？

水谷 大学院に進んでもう少し研究したいと考えています。教職と学芸員の資格を取って、教育委員会の埋蔵文化財センターなどで働きたいと思っていますが、なかなか空きがないという話も聞いています。早稲田の助教と話をしたのですが、最初就職したものの自分の好きなことができないという理由で大学へ戻ってきた人もいます。

——考古学で飯を食うのは実は難しいです。また教育委員会の発掘の多くは学術発掘ではなく、開発予定地で遺跡が出てきたから調査して、終わったら埋めるか取り壊しです。文化財の保存か、開発か。常にディレンマと隣り合わせです。

水谷 長屋王の遺跡の上に建設したデパートは閉店しました。「長屋王の呪い」という噂です（笑）。私が研究している伊賀焼も「京都で作ったものを伊賀ブランドで売った」という説が支配的です。私は伊賀焼がオリジナルであって欲しいのですが、考古学は真理に到達することが目標ですから、証拠が出てくれば仕方がないです。聖書考古学と同じです。また考古学は政治が絡んでいて、ある古墳を発掘すると朝鮮半島由来のものが出てきそうなのでちょっと調査は…という話もあります。事実は受け入れるべきですが、まあ私も「水谷家の墓を掘らせて欲しい」と言われたら嫌ですね（笑）。

——ディレンマを感じながらも、真理は真理として可能な限り追究するというのが学問の醍醐味ですね。ありがとうございました。



準硬式野球部 前列左から3番目が水谷さん（主将です）